



「バックエンド部会」

第57回全体会議

日時: 2022年9月7日(水) 12:05~12:55

会場: 日本原子力学会「2022年秋の大会」

A会場(E1棟1F 10番教室)

「バックエンド部会」第57回全体会議



2022年9月7日(水) 12:05～12:55 A会場

【議事次第】

- 部会長挨拶
- 2022年度活動中間報告
 - ① 企画報告(企画セッション、夏期セミナー、PSWG他)
 - ② 広報報告(部会HP小委員会活動、週末基礎講座)
 - ③ 出版報告(部会誌の発行状況他)
 - ④ 庶務報告(海外発表助成・研究会支援制度他)
 - ⑤ 会計報告(収入・支出実績)



佐々木部会長挨拶



2022年度活動中間報告

①企画A報告【大会・年会における企画セッション】



【2022年秋の大会】

□バックエンド部会 企画セッション

[1A_PL]バックエンドに関する技術開発の取り組みと将来展開

2022年9月7日(水) 13:00 ～ 14:30 A会場

座長: 井口 幸弘(福井大)

(1A_PL01) 日本原子力研究開発機構におけるバックエンド関連技術開発のこれまでと将来
目黒 義弘(JAEA)

(1A_PL02) 廃止措置技術開発の方向性 -エンドステートに必要なもの-
渡邊 直子(北大)

(1A_PL03) 廃止措置技術開発の方向性 -実務担当者の立場から-
鳥居 和敬(清水建設)

(1A_PL04) パネル討論 バックエンドに関する技術開発の将来展開
目黒 義弘¹, 渡邊 直子², 鳥居 和敬³ (1. JAEA, 2. 北大, 3. 清水建設)

【2023年春の年会】

企画のアイデア・ご希望がございましたら、運営小委員会委員までご連絡ください！！(後日に部会メールサービスで案内)

①企画A報告【2022年秋の大会 プログラム編成委員】



■ 以下の方々にプログラム編成にご尽力いただきました。

コード	専門分野	WGリーダー	WGメンバー
505-1	放射性廃棄物 処理	金山 文彦(JAEA)	有馬 立身(九大) 川崎 大介(福井大) 金山 文彦(JAEA) 近藤 陽太(日立GE) 桜木 智史(原環センター) 千田 太詩(東北大) 中村 保之(JAEA) 早野 明(JAEA)
505-2	放射性廃棄物 処分と環境	尾上 博則(NUMO)	
505-3	原子力施設の 廃止措置技術	中村 保之(JAEA)	



□「地層処分のセーフティケースに係る様々なステークホルダーを対象とした理解促進に関する方法の検討」特別専門委員会

- 設立期間:2021年9月 ～ 2024年3月
- 地層処分に特有の概念や用語に対する専門家間の認識のずれ、セーフティケースの分かりにくさの原因を整理
- 上記を解消するための重要な用語の解説、コミュニケーション上の配慮事項等を取りまとめ、実践を通じてコミュニケーションのための知識ベースを構築

①企画B報告 【第38回バックエンド夏期セミナー】



と き : 2022年8月25日(木)有料セッション、26日(金)無料セッション
ところ : ハイブリッド開催(対面(定員40名)+オンライン(ZOOM会議))
テーマ : ハイブリッドでの新たな交流の形ー放射性廃棄物の管理について考えるー

・25日の参加登録者数:92名(対面29名、オンライン63名)

・講演7件

原子力規制庁	: 志間正和様、青木広臣様、菅生 智様、大塚伊知郎様
電気事業連合会	: 林 宏二様
ONDRAF/NIRAS	: Dr. Christophe Depaus
日本原子力研究開発機構	: 笹尾英嗣様
資源エネルギー庁	: 北村 暁様
原子力発電環境整備機構	: 林 隆正様

・ポスターセッション:6件

- ポスター
- ショートプレゼンテーション
- ブレイクアウトルームにおける意見交換、質疑



ポスターセッションについては、優秀ポスターを決定し、春の年会で表彰を行う。

①企画B報告 【第38回バックエンド夏期セミナー】



2日目：原子力安全部会・バックエンド部会合同セッション〔共催〕

・26日の参加登録者数：98名（対面22名、オンライン76名）

・講演1件

原子力発電環境整備機構：梅木博之様

・パネルディスカッション

座長：小畑政道様（ベクトル）

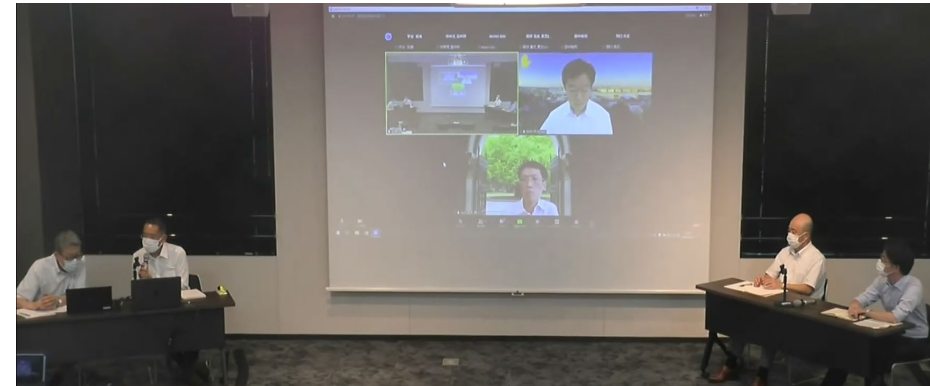
パネリスト：中村秀夫様（日本原子力研究開発機構）

杉山大輔様（電力中央研究所）

糸井達哉様（東京大学）

小林大志様（京都大学）

・見学会：東京都下水道局 千代田幹線施設



パネルディスカッションの様子

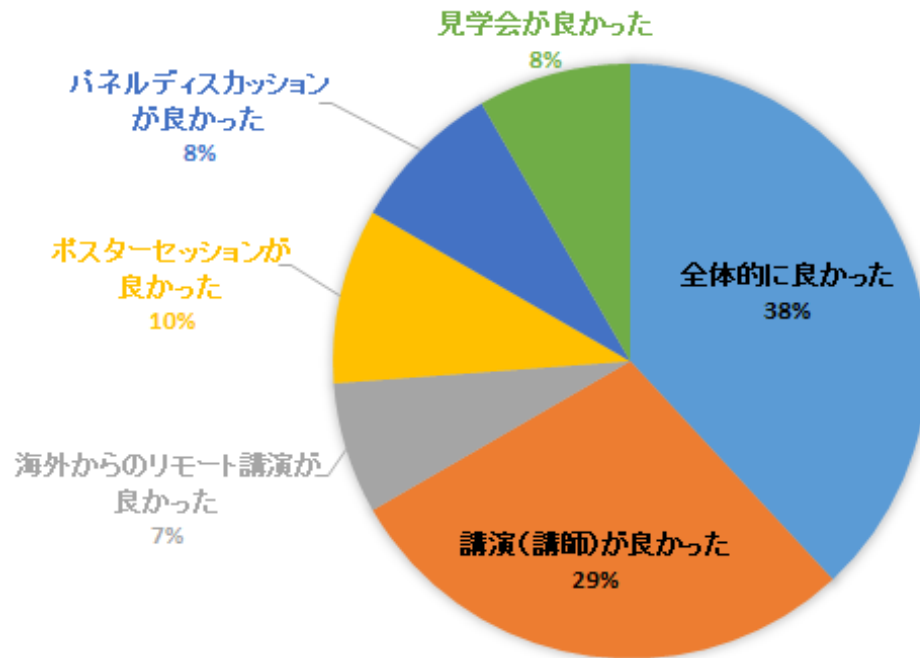
・講演再録、夏期セミナー参加記は部会誌次号に掲載する予定

①企画B報告 【第38回バックエンド夏期セミナー】

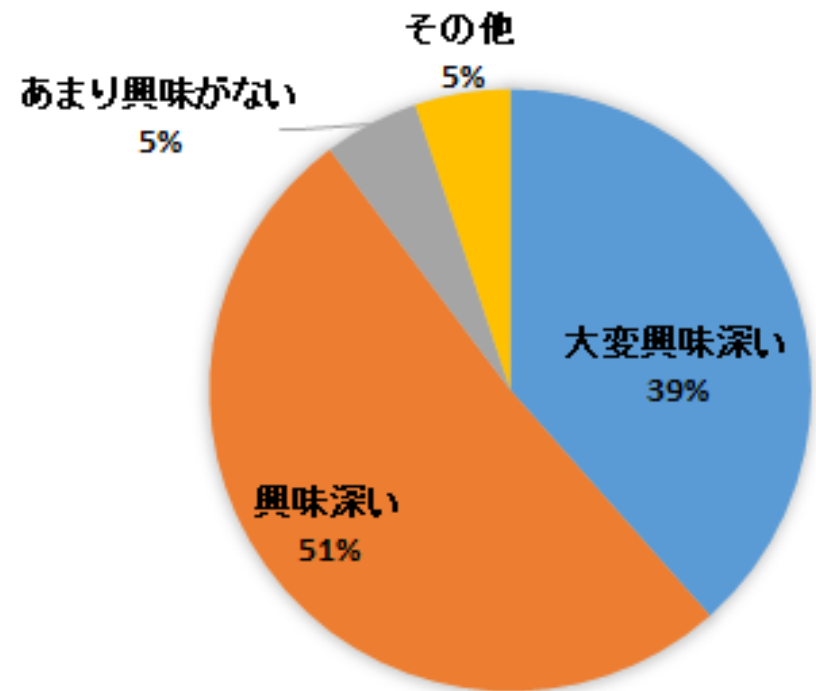


アンケート速報（現在42名よりご回答）

夏期セミナーの良かった点



パネルディスカッションについて

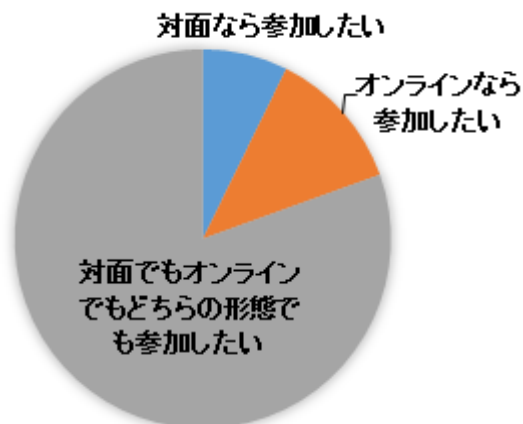


①企画B報告 【第38回バックエンド夏期セミナー】

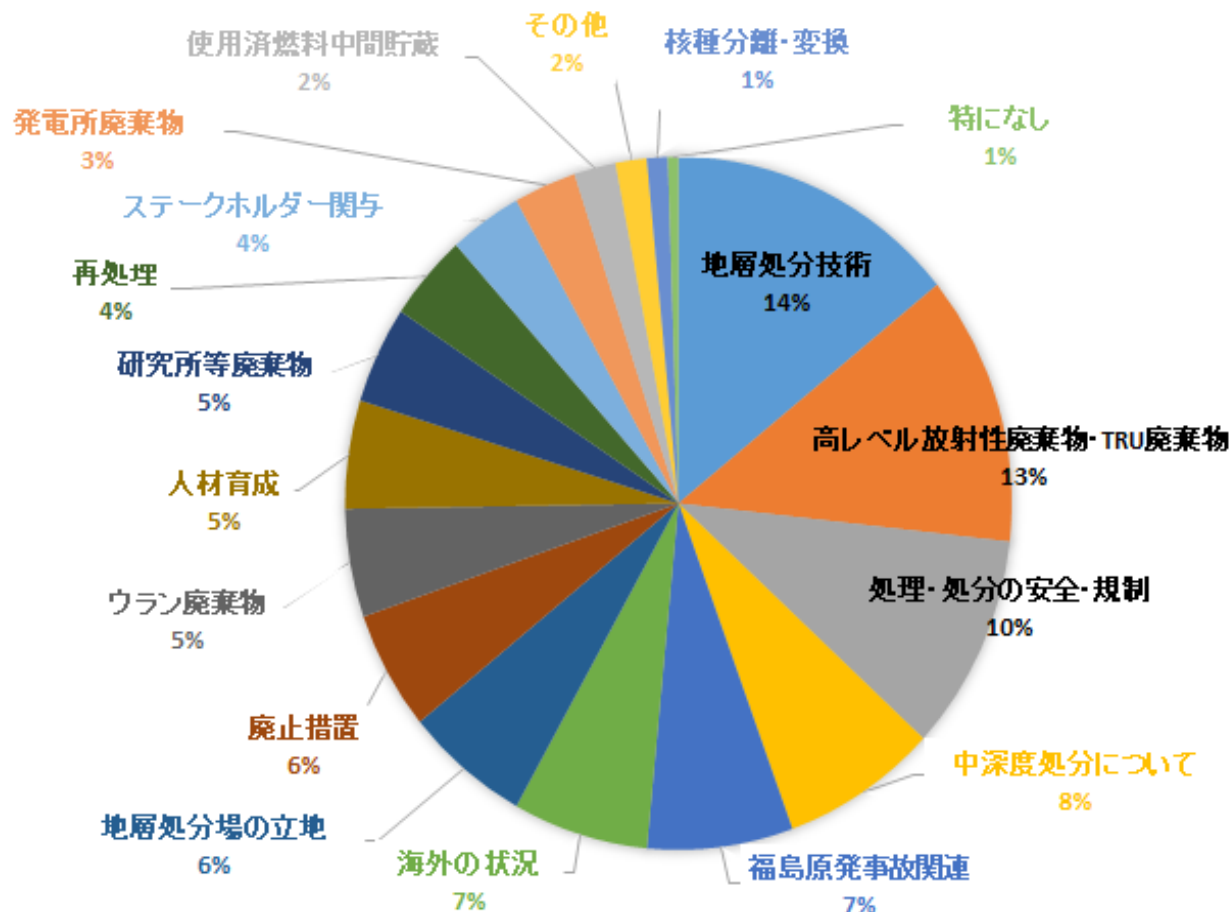


アンケート速報値（現在42名よりご回答）

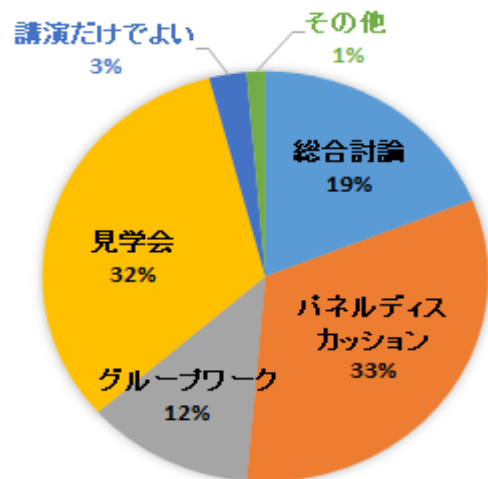
希望する開催形態



希望する講演内容



講演以外に希望するイベント



①企画C報告 【ポジション・ステートメントWG他】



□PSWG (ポジション・ステートメントWG)

- ポジション・ステートメントのより一層の認知度向上及び、タイムリーなPS発信を目指して、PSの枠組みやプロセスの見直しについてWGにて協議を実施。規定類等理事会に提出する見直し案を作成中。広報委員会の意見聴取まで済んでおり、9月末理事会審議予定。
- バックエンド部会から提案しているPSは、「ガラス固化体の性能」、「廃棄物埋設の放射線防護に関する国際的な考え方について」、「クリアランス」、「高レベル放射性廃棄物の地層処分」。見直し版の規定類の承認後に、区分見直し等の作業予定。

□EAFORM2022

- 今年度開催が決定。日程・会場は以下の通り。BE部会のHPで紹介しております。
日程: 2022/10/26(水)～28(金)
会場: Jeju Shinhwa World Landing Convention Center
- 参加申し込み: 9/16 (早期申込: 9/15)



1. 部会ホームページの管理・運用(3/8～8/31)

<https://nuce.aesj.or.jp/>

- ・第55回及び第56回バックエンド部会全体会議資料及び議事録の掲載
- ・部会長あいさつ(2022年4月)の掲載 ・部会誌バックエンド研究No.29 No.1発行の掲載
- ・2021年度部会表彰の掲載 ・第38回バックエンド夏期セミナー〔開催案内〕の掲載
- ・秋の大会企画セッション情報の掲載

2. バックエンド部会情報メールサービス(メーリングリストによる情報連絡)

配信実績：R4度上期 15件(3/8～9/1), 配信先 428名(9/1現在)

お知らせ と お 願 い

メール配信開始/停止, アドレス変更は部会員からの申告によって行います。(部会加入と連携していません)
配信エラーが続くと自動的に配信停止となります。

メール配信ご希望の方, アドレスの変更があった方は広報担当までお知らせください。

e-mail: info@nuce.aesj.or.jp (部会ホームページをご覧ください)

3. ホームページ小委員会メンバー

岩田 孟	原子力機構	広報委員(2021～)	HP更新, メール配信等の窓口, 運営小委員会との連絡調整
山口 正秋	原子力機構	広報委員(代理2022.8.～)	同上
齋藤 龍郎	原子力機構	広報委員(2022～)	同上
佐々木 隆之	京都大学		運営全体の俯瞰, 企画・提案
笹川 剛	原子力機構		部会情報メール メーリングリスト管理, メール配信
佐原 聡	原環センター		HPサーバー運用・管理(主担当)
平野 史生	原子力機構		HPサーバー運用・管理



■ 開催目的・趣旨

- 放射性廃棄物の処理処分などの原子力に関するバックエンド分野の基礎的な知識を身につけていただくことを目的として開催いたします。また、参加者相互の交流の機会を提供するものです。
- 当分野に興味をお持ちの学生の皆さまや、新たに業務や研究に携わる方々だけでなく、すでにこの分野でご活躍の方々に、改めて関連する知識を確認されたい方など、広くご参加いただけます。
- 本年度は3年ぶりの対面開催を予定しています(新型コロナウイルスの感染状況により、オンライン開催への変更の可能性もあります)。

■ 日程 令和4年10月21日(金) 13:00頃～22日(土) 17:00頃(予定)

■ 場所 東海村アイヴィル(茨城県那珂郡東海村)(予定)

■ 参加費 未定

週末基礎講座の詳細につきましては、9月下旬を目途に部会ホームページおよび部会メール情報サービスにてご案内する予定です。

③出版報告 【部会誌の発行】



■ 部会誌「原子力バックエンド研究」 Vol.29 No.1をウェブサイトで公開中

巻頭言	杉山大輔	部会をとことんご利用ください 再び
技術報告	関美沙紀	放射性アルミニウム廃棄物の安定化処理技術の開発
資料	中林亮 他	放射放射性廃棄物処分場の施設設計におけるALARAとBATの在り方スウェーデンの事例調査ー
特集：日本原子力学会 2021秋の大会 バックエンド部会企画セッション		
会議参加記	大塚拓	地層処分にに関する安全コミュニケーション
講演再録	草野由貴子	なぜ、地層処分なのか？ーセーフティケースの役割
	藤山哲雄	セーフティケースへの情報統合ーNUMO 包括的技術報告書を例として
	バックエンド部会運営小委員会	安全コミュニケーションに関するパネル討論
特集：2021年度バックエンド週末基礎講座		
会議参加記	茅根麻里奈	「2021年度バックエンド週末基礎講座」参加報告
講演再録	山口正秋	バックエンド週末基礎講座 地層処分研究の概要について
	吉田美美子	地層処分事業の進め方
	坂井章浩	研究施設等廃棄物の放射能インベントリの特徴
	竹野竜平	2021年度バックエンド週末基礎講座 分かりやすい地層処分Q&Aを考える (オンラインディスカッション)
会告		2021年度バックエンド部会表彰 バックエンド部会 関連行事予定

③出版報告 【出版小委の新体制】



役職名	仕事概要	2022年度担当者	所属
編集長	全体の工程管理	川崎 大介	福井大学
副編集長	査読付き論文ハンドリング	鷹尾 康一郎	東京工業大学
委員長	全体の取り回し、運営小委・学会事務局との連絡	藤社 進	株式会社IHI
	査読なし原稿ハンドリング		
副委員長	委員長補佐＋工程管理補助	中林 亮	電力中央研究所
出版幹事	原稿（査読あり原稿は査読終了後、査読なし原稿は受領後）の出版（先行公開および部会誌）に向けての事務的仕事の統括	関口 高志	戸田建設
	フォロー		
編集幹事	レイアウトを統括	北城 諒一	日本原燃株式会社
レイアウト担当	レイアウトの実施、原稿のレイアウト確認	西尾 光	原子力発電環境整備機構
		湊 大輔	電力中央研究所
		中島 均	清水建設株式会社
		山田 淳夫	株式会社安藤・間
CD化 J Stage	CD化、J-Stage、会計を統括	山口正秋	日本原子力研究開発機構
	論文のCD化	山田 文香	原子力環境整備促進・資金管理センター
	査読付き論文等のJ-stageへの登録	邊見 光	日本原子力研究開発機構
会計担当	支出、収入の会計処理	清水 洋平	株式会社ダイヤコンサルタント
HP	HP関連	古川 静枝	電力中央研究所

④庶務報告 【支援制度】



【海外発表助成制度】

- ・ 若手研究者の海外発表に関する渡航滞在費を助成
- ・ 半期あたり原則1名を対象に13.5万円を限度に助成
- ・ 詳しくは部会ホームページに掲載の募集要領を参照
- ・ 2021年度実績：上期分(2月10日締切) 応募なし
下期分(8月10日締切) 応募なし
- ・ 2022年度実績：上期分(2月10日締切) 応募なし
下期分(8月10日締切) 応募1件
 - ・ 京都大学大学院博士課程1年(IYNC2022, 日本)



【研究会支援制度】

- ・ 部会員から研究テーマを公募して研究会を設置
- ・ 研究会の費用を年間13.5万円までを目安に支給
- ・ 会期は最長3年とし、適宜成果を取りまとめて発表
- ・ 詳しくは部会ホームページに掲載の募集要領を参照
- ・ 2021年度実績：応募なし
- ・ 2022年度実績：8月末時点で応募なし



④庶務報告 【優秀講演賞】

・ 優秀講演賞を1名選出

(学生会員対象とした**学生優秀講演賞**は該当なし)

	バックエンド 対象講演数※	内,学生会員 講演数
2022年 秋の大会	129	28
2022年 春の年会	76	25
2021年 秋の大会	107	25
2021年 春の年会	77	23



※)「放射性廃棄物」、「廃炉(廃止措置)」、「地層処分」のいずれかのワードを含む一般セッションにおける発表

各座長の採点結果に基づき、本大会における学生優秀講演賞、優秀講演賞を選出

⇒ 2022年春の年会、秋の大会の優秀講演賞を2023年春の年会全体会議
において表彰予定



参照：経理月次資料(収支実績):2022年4月-7月

全体収支

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
通常予算	424,000	通常予算	10,246
セミナー予算	0	セミナー予算	287,100

＜合計＞	424,000	297,346
＜当初予算額＞	2,368,000	2,368,000
＜執行率＞	18%	13%
＜収支＞		126,654

円

- ・ 収入の部：BE部会会費収入は予算通り。夏期セミナー参加費収入は7月末時点で無し（精算中につき今後計上）。
- ・ 支出の部：BE部会サーバー代等、夏期セミナー会議室レンタル代。
- ・ 上期(4月～9月)の、**全体収支は現時点で黒字**。夏期セミナーの実績を反映予定



通常予算収支

参照: 経理月次資料(収支実績): 2022年4月-7月

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
受取掲載料	66,000	旅費交通費	0
受取配分金	358,000	通信運搬費	5,406
		消耗品費	0
		一般外注経費	4,840
		諸謝金	0
		雑費	0
		支払助成金(事)	0

<小計>	424,000	10,246
<当初予算額>	608,000	915,000
<執行率>	70%	1%
<収支>		413,754

円

- 収入の部: 受取配分金(BE部会会費)は予算通り。7月発行部会誌への論文掲載・受取掲載料が少なく、当初予算額よりも収入は若干少ない。
- 支出の部: 部会HP用レンタルサーバー代、部会誌への論文掲載時のJ-stage登録費などの定例的な支出。
- 上期(4月~9月)の支出は少なく、**通常予算は現時点で黒字**。支出の多い下期の予算執行に留意して、引き続き適切な予算管理に努める。



セミナー予算収支

参照: 経理月次資料(収支実績): 2022年4月-7月

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
受取参加費	0	会議費	287,100
		通信運搬費	0
		消耗品費	0
		一般外注経費	0
		出展費	0
		賃借料	0
		雑費	0

<小計>	0	287,100
<当初予算額>	1,760,000	1,453,000
<執行率>	0%	20%
<収支>		-287,100

円

- 収入の部: 7月末の経理月次資料では、夏期セミナーの参加費収入が未反映のため収入無し(ただし、合計88名の参加費収入が今後計上される。)
- 支出の部: 夏期セミナーの会議室レンタル費。ハイブリット開催により、講師旅費などの支出が抑えられた。
- 上期(4月~9月)の**セミナー予算は現時点では赤字**。しかし、夏期セミナーの参加費収入実績の反映によって大幅な赤字にはならない見込み(精算中)。今後も支出の削減²¹に努め、年度収支としても黒字化を志向中。



なし



Fin.